



本シンポジウム成果報告 (アンケート表示)

The Questionnaire about International Symposium on Ocean Education 「海洋教育国際シンポジウム」【アンケート】

1. How were you satisfied with this symposium? / 本シンポジウムへ参加してみていかがでしたか?
 - ・ Excellent / 大変満足
 - ・ Very / Good 満足
 - ・ Good / 普通
 - ・ Fair / あまり満足ではない
 - ・ Poor / 満足ではない
2. Which part of the symposium was the most impressive? / 本シンポジウムのどのパートが印象的でしたか?
 - A) Lectures / 講演
 - B) Showcase / 実践紹介
 - C) Panel Discussions / パネルディスカッション
3. Which lectures or showcases were you interested in? / どなたの講演や発表に興味をもちましたか?
 - A) Keynote Lecture: Prof. Satoshi Tanaka / 基調講演：田中智志氏
 - B) Invited Lecture: Prof Yutaka Michida / 招待講演：道田豊氏
 - C) Showcase 1 (実践紹介) : Dr. Joanna Philippoff (Hawaii)
 - D) Showcase 2 (実践紹介) : Dr. Muzailin Affan (Indonesia)
 - E) Showcase 3 (実践紹介) : Dr. Fumiko Noguchi (Australia)
 - F) Showcase 4 (実践紹介) : Ms. Shin, Chun Hee (South Korea)
 - G) Showcase 5 (実践紹介) : Mr. Lionel Poiraudau (France)
 - H) Showcase 6 (実践紹介) : Mr. Go Kobayashi (Japan 1)
 - I) Showcase 7 (実践紹介) : Dr. Hide Sakaguchi (Japan 2)
4. Did you find anything useful for your future activities from this symposium? / 本シンポジウムからこれからの自身の活動に参考になったり、活かせたりする点はありましたか?
 - A) Yes / ある
 - B) Not sure / 分からない
 - C) No / ない
5. <If yes> How do you think you can make use for future activities? / <「ある」とご回答された方向へ> どのような点を活かせそうですか?
6. If you have any other comments, questions or suggestions for this symposium, please write in below. / その他、本シンポジウムについてのご意見・ご感想がありましたら、自由に記述してください。

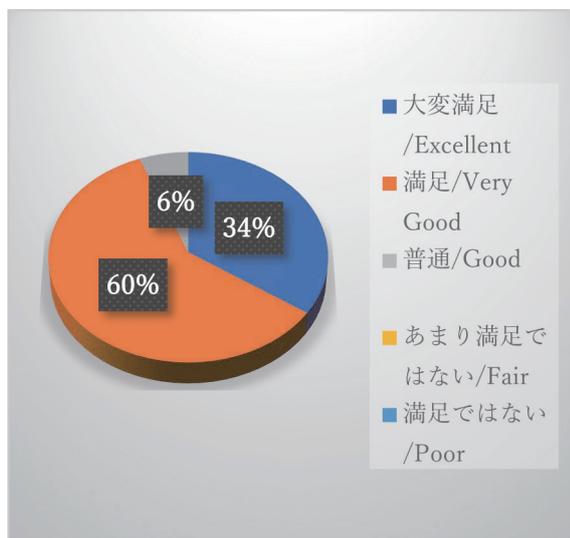


本シンポジウム成果報告 (アンケート内容)

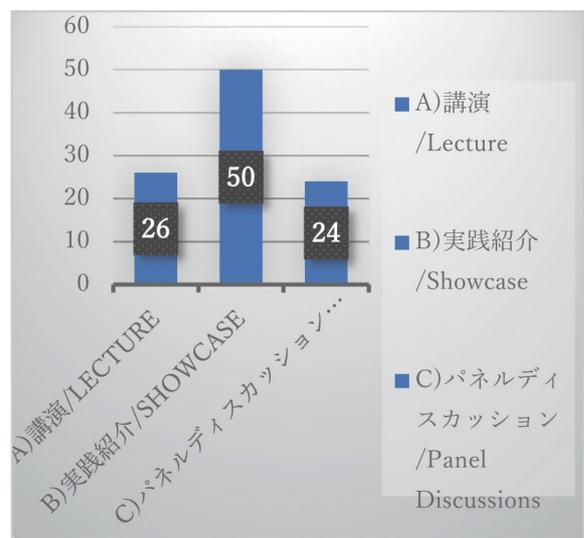
The Results of the questionnaire about International Symposium on Ocean Education

「海洋教育国際シンポジウム」【アンケート結果】

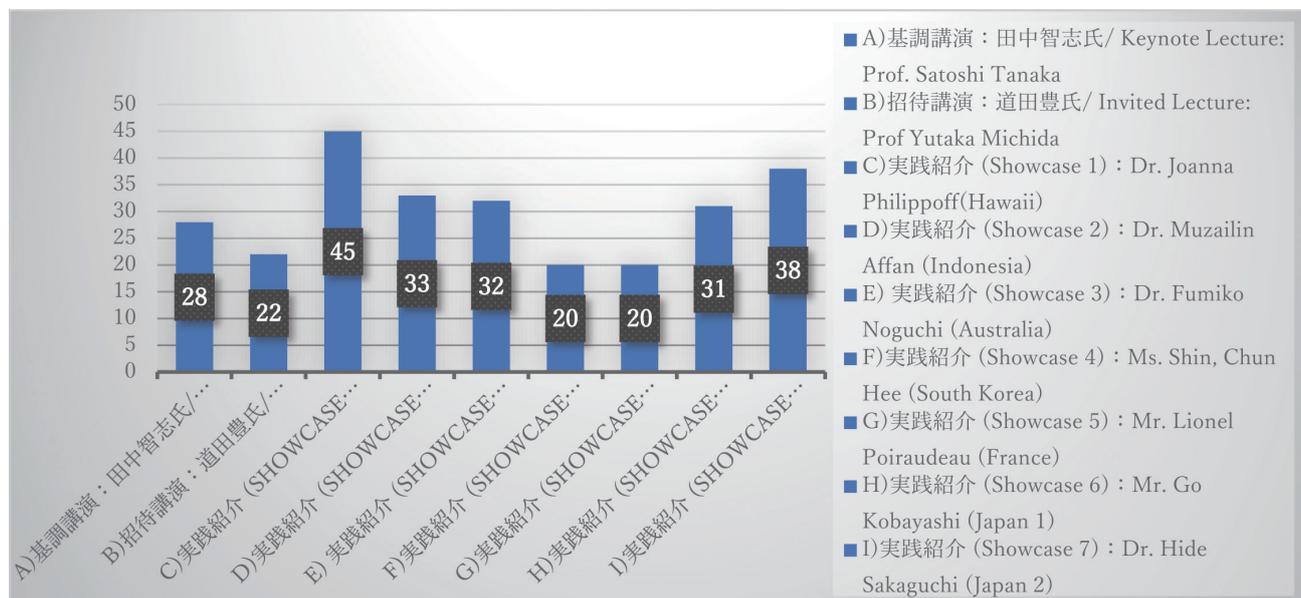
1. 本シンポジウムへ参加してみていかがでしたか？ / How were you satisfied with this symposium?



2. 本シンポジウムのどのパートが印象的でしたか？ (複数回答) / Which part of the symposium was the most impressive? (MA)

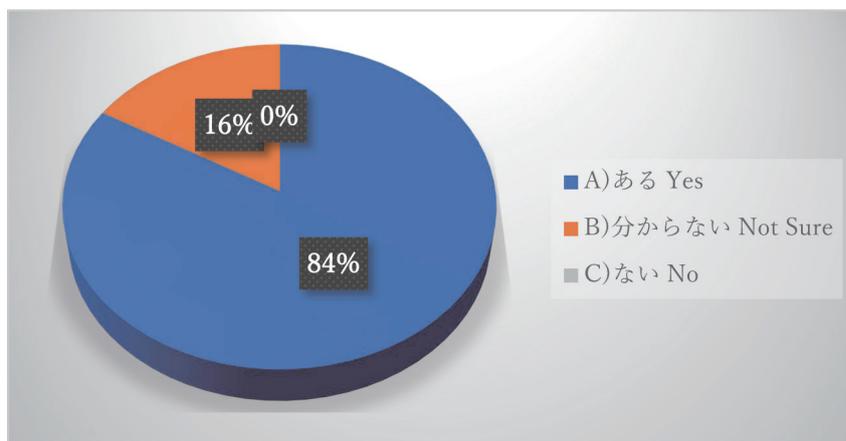


3. どなたの講演や発表に興味をもちましたか？ (複数回答) / Which lectures or showcases were you interested in?(MA)





4. 本シンポジウムからこれからの自身の活動に参考になったり、活かせたりする点はありましたか？ / Did you find anything useful for your future activities from this symposium?



5. <「ある」とご回答された方向け>どのような点を活かせそうですか？ / <If yes> How do you think you can make use for future activities?

海洋教育のカリキュラム開発と実践

- ・今後の実践をどのように展開するかについて考える上で生かせると思う。
- ・総合的な学習の時間の取組に生かして行きたいと思います。
- ・ I will do some activities regarding the ocean education by adapting some examples from the showcase.
- ・教育の現場にフィードバックしたいと思います。
- ・持続的なカリキュラムづくりについてのミーティングの在り方や、学年間の課題の共有の必要性について。
- ・事例を参考に自身の活動に落とし込みたい。
- ・カリキュラム作成の際のポイント
- ・海洋教育について、世界が目を見始めていることを知ることができた。また、誰もが模索中なのであれば、「どんな小さな活動も意味があること」だということ、子どもたちと一緒に共有できる。
- ・現在内陸の学校支援を行っていますが、内陸には内陸のやり方がある事が分かりました。とは言えやはり実際の海に連れ出すことも重要な事を忘れてはならないと思いました。米国も海洋教育に対する取り組みがわが国と同様であり、韓国においては我が国の先を行っている事に、良きライバル心を持ってこれからも対応していきたいと思いました。
- ・今後、海洋教育を進めていくためには、子供たちが話し合いを通じて問題意識を認識できるような機会がもてるような学びを進めていくことの大切さを感じました。
- ・海洋教育について、世界的に行っていることが情報収集でき、同じ考え同じ悩みを持っていると感じた。そして海が世界と繋がっている事がわかった。フィールドトリップのような活動を学校活動のカリキュラムにいかに埋め込んでいくかが鍵である。3学期からの教育課程検討において考えていきたい。
- ・海から離れた地区での海洋教育として、今後の視点をたくさんご提示していただいた。とくに、今行っているハックルベリーフィンの発想での川下り学習は大切であり、気候変動に向けた語り部活動も継続していきたいと思いました。
- ・私は学校教育に長年、教諭としてかかわってきた経験から、日本で新学習指導要領が導入される前から、



今後、総合の時間や特別活動の時間での海洋教育を含む特別な形での教育に使える時間は減少すると考えていました。COVID-19による休校は、実際に学校現場から余裕をなくす現状がどうなるかを如実に示してくれました。同時に海洋教育を通じて子供たちに養われる実体験の大切さも認識できました。私は、今、大学の教員養成の立場から、海洋教育の理科カリキュラムへの導入を、実際に学校現場で進めています。これが海洋教育の普及には、最も有効であると世界の状況を教えていただいて認識できました。今後の実践的取り組みの指針にさせていただきます。貴重な講演、ありがとうございました。

- ・海洋教育は海を知るだけでなく海に共感することが重要だということ。参加者の皆さんのスライドがきれいで情報が多いのにわかりやすかったので、自分もプレゼン作りに活かしたいと思ったこと。恥ずかしながら「稲村の火」の話を今回インドネシアの方の紹介で初めて知ったこと。
- ・海洋系の大学で教職を履修し、海洋教育に興味を持つようになりました。来年から海洋に関する教育について研究をするので、今回のシンポジウムを生かしてもっと世界及び海洋の海洋教育について学び、今後に生かしたいと思いました。
- ・海岸漂着ごみは、子どもたちの学びの素材としては有効なものであり、同時に解決すべき課題である。そのことを改めて考え、さまざまな角度からアプローチできるものと考えている。

海洋教育推進のための連携・パートナーシップと情報共有

- ・「支え合い」、共生という言葉が心に残った。「支え合い」をするには、どう行動したらよいのかと改めて考えさせられた。海洋教育への考え方、進め方などにヒントを得ることができた。
- ・日本が他の国とは違い計画などはたくさんあっても、それが活動されていなかったり、文字だけ作ってやったつもりになっている点が多いこと。
- ・海外の事例も聞かせていただき、日本と共有できる課題が多くあると感じた。
- ・インドネシアにおける海洋教育の充実に向けての日本の貢献の検討。
- ・ハブとプラットフォームの構築、有機的な運用
- ・情報共有の大事さ。
- ・We can use the format of the panel discussion and ask students to represent each country and discuss ways the current problem areas can be tackled.
- ・To share the practices as some case studies with our stakeholders on ocean education.
- ・行政機関をハブとしたホールタウンとしての取組について
- ・ハブ機能としての自治体の役割。
- ・海洋教育をより良く実践するために包括的なネットワークが必要であることが今回の講演で非常によく分かったため、このようなネットワークを形成もしくは積極的に関わっていくためにはどのようなことをすればよいのか重点的に考えようと思った点。
- ・学校現場と外部機関との連携について参考になりました。
- ・自分の関わる組織活動（海洋教育コーディネートと、ハブ組織としての運営）の方向性について、確証が持てた点。またその点を踏まえ、一歩先を見据えて課題を具体的に明らかにして検証する必要性を認識できた点。
- ・活動の見直し。
- ・学校以外の地域・団体との連携の整理が必要と感じた。（ハブ組織化を目指して）
- ・海洋教育の目標がどの程度達成できたか等の評価をどう測定していくか考えていきたい。
- ・世界各国の実践や課題について、自分たちの地域、学校の実践等とそう変わらないのがよく分かった。同じ課題に向けて、世界各国や日本の関係者がともに考えていくことは、同じ土俵に立っていることを認識しながら、大切なことと思う。広い視野での情報を聞くことができ、とても良かったです。



International Symposium on Ocean Education

- ・本日発表頂いたそれぞれの国、地域での海洋教育の推進状況がとても参考になりました。どの国においても、これから取り組むべき課題があるという事も良くわかりました。いろいろな情報を得ることができて良かったです。

海洋教育の理念の共有と普及

- ・海洋リテラシーについて、新たな視点を得ることができた。
- ・海洋教育の必要性を再認識しました。SDGs13、SDGs14への取組について勉強になりました。
- ・海洋教育の動向や方向性について、最新情報を得ることができた。
- ・さらに海洋教育に関心を持ちました。引き続き海洋教育に関して学び広げていきたいと思いました。
- ・ジオパークでも海洋ゴミの収集を行っているが、海洋教育としてきちんと位置付ける必要性を感じた。

教員の研修と資質能力の・向上

- ・教師への研修、カリキュラムや支援体制の構築の重要性がどの国でも重要であることを再認識できました。他国の実践も参考にしていきたいです。
- ・海洋教育を推進していく意義・必要性を改めて感じました。そのために、どんな資質・能力を育んでいくのか明確にしながら進めていきたいです。
- ・地域学習をどのように進めて行くか。進め方や情報共有をどのようにしたら良いか。学校と地域とをどのように結びつけたら良いか。コーディネーターの重要性が分かった。また、教員の質の向上が大きな課題である。そこをどう進めたら良いか。示唆をいただけた。

その他

- ・Citizen Science に関して、官民のさまざまな取組みが拝聴でき、日本国内での展開に非常に参考になりました。
- ・海洋教育に関わる施設あるいは市民団体の意識をさらに高めてもらうことに役立てられたらと思う。市民科学の大切さを持続可能性との関連から認識してもらおうと考える。
- ・この取り組みに対する課題についての情報共有がもっとすすめば、ビジネス分野での取り組みが大きく変わりそうな印象を持ちました。

6. その他、本シンポジウムについてのご意見・ご感想がありましたら、自由に記述してください。

/ If you have any other comments, questions or suggestions for this symposium, please write in below.

- ・基本理念と共に、世界の多様な地域で行われている実践を学ぶことができる貴重な機会をいただき、ありがとうございました。これを基に、日本の海洋教育について学んでいきたいです。
- ・子供向けのシンポジウムがあれば、ぜひ、学校として参加してみたいと思いました。
- ・世界の方々のプレゼンテーションを聴くことができたことで、海洋教育の重要性を改めて感じることができました。貴重な機会をご提供いただいたことに感謝申し上げます。
- ・グローバルな視点でこういうイベントが開催されることはとても意義深いと思います。
- ・ありがとうございました。次回も楽しみにしています。
- ・国は変わっても問題意識は同じであることがわかってよかった。
- ・太平洋の島嶼国、既に温暖化等の離京を受けている諸国の方々の取組みや事例も知りたかったです。本日はありがとうございました。
- ・NMEAはじめ海外の海洋教育関係者との今後も繋がりを保持できたらと思います。



- ・大変盛大な会の開催お疲れさまでした。教育の現場においては、ローカルに目を向けていくことが大切ではありますが、それがこういった広い世界につながるのだと感じました。海も世界も広く深いと思いました。
- ・ I hope that there is a forum for teachers, students, and schools to participate and collaborate in Ocean Education Programme.
- ・ 国を超えて海洋教育を進めていこうとする気迫を感じられた。連携、協働の道を探る上でこのようなシンポジウムは大変有意義な取り組みであると感じました。大変にありがとうございました。
- ・ Congratulations! It was great opportunities to learn that the ocean issue is not only relating to climate change, biodiversity, blue economy, maritime but socio-cultural challenges such as refugee and immigrant.
- ・ 次の機会があれば、是非、参加したいと思います。
- ・ 世界のあらゆる国で取り組まれており、取り組みやその背景等大変興味深いものでした。ありがとうございました。
- ・ また参加したいです。
- ・ 特に英語の講演について、時々日本語の同時通訳を使用しながら聴いていましたが、ところどころ翻訳の際に詰まっていたと感じられました。そのため英語で聴いていた情報量に対し通訳を介しての情報量がかなり少ないのではと感じたため、今後は事前に発表者から発表原稿をいただいて翻訳した上で通訳を行なうなど、通訳の有無に関わらず聴衆が得られる情報量にあまり差がないと良いと感じています。
- ・ 翻訳がわかりやすくありがとうございました。英語ができると情報量がこんなに増えるんだと実感しました。
- ・ 各国の学校での取り組みや、もっと実践的な取り組みの内容を取り上げて欲しい。
- ・ 我が国のPSP実施校の発表も今以上に必要で多くの機関の参加を促す事をされても良いかと思います。それによりハブが生まれてくるかなと思いました。
- ・ 大変貴重なシンポジウムでした。世界中の方々の実践が聞けて大変有意義でした。関係者の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。
- ・ 先日、田中先生の「共感と共苦」、ヒュームの言葉とても心にしみました。じねんとして教育に邁進しようと思います。また、及川先生の司会、いつもどおり発話する者の言いたいことや主張の概要を端的に捉えたコーディネータ力に感心しました。とてもインスパイアされたシンポジウムでした。ぜひ、次年度もお願いします。
- ・ 講演や発表、ディスカッションの内容がペーパーとして残ると良いなと思いました。ありがとうございました。
- ・ 海外の取り組みの要点が課題とともに把握でき、たいへんよいシンポジウムだったと思います。パネルディスカッションは、事前の課題設定にこだわらず、発表内容に合わせてその場で変更しても良かったように感じました。
- ・ ○「プラスチックゴミ」が世界共通の海洋問題であることがわかり、今後子どもたちにも伝え取り組みたい。
○海洋教育の担当者の移動により活動が減退することが、悩みの共通点であった。
○どこの国の「海洋教育」も始まったばかりで様々な問題を抱えていることがわかった。
- ・ 本日はとても内容が濃い充実したシンポジウムに参加させていただいてよかったと思います。今後、海外との交流や情報交換がさらに広がる契機となったのではと思います。関係の先生方本当にお疲れ様でした。